



2025 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 スター・マイカ・ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 水永 政志
(コード 2975 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員 長谷 学
T E L 03-5776-2785
U R L <https://www.starmica-holdings.co.jp>

通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、2025 年 11 月期の通期連結業績予想（2025 年 1 月 14 日公表）及び期末配当予想（2025 年 1 月 14 日公表、2025 年 5 月 22 日修正）について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

（1）2025 年 11 月期の通期連結業績予想の修正（2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	64,061	6,298	4,981	3,442	102.05
今回修正予想（B）	67,895	7,232	6,002	4,159	123.65
増 減 額（B－A）	3,833	934	1,021	717	
増 減 率（％）	6.0	14.8	20.5	20.8	
（参考）前期実績 （2024 年 11 月期）	55,849	5,524	4,607	3,106	92.98

※上記数値は、現時点で予想可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって上記数値と異なる場合があります。

（2）修正の理由

当社グループでは、2025 年 11 月期においても、2025 年 1 月 14 日に公表した中期経営計画「Find the Value 2026」の事業戦略を着実に実践しております。

特に、第 3 四半期累計期間において、コア事業であるリノベマンション事業を中心に、オーナーチェンジ物件（賃借人が居住中の物件）への回帰や都市部シェアの向上といった事業戦略が奏功し、販売戸数が大幅に増加したことや、高価格帯物件の販売が好調であったことが増益を牽引しました。

また、規律ある在庫管理を強化することで、収益性と効率性を意識した経営管理を推進した結果、第 3 四半期累計期間として売上高・利益ともに過去最高を記録する等、業績が極めて好調に推移したため、2025 年 11 月期の通期連結業績予想を上回る見通しとなり、上記のとおり修正を行うものであります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2025 年 5 月 22 日)	15 円 00 銭	15 円 00 銭	30 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		18 円 00 銭	33 円 00 銭
当 期 実 績	15 円 00 銭		
前期実績 (2024 年 11 月期)	10 円 50 銭	12 円 50 銭	23 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置づけております。そこで中期的には、次のキャピタルアロケーションポリシーに基づき、利益配分については、今後の成長投資を優先したうえで、年 2 回の中間配当及び期末配当として安定的かつ増配にて実施していくとともに、PBR 1 倍割れ等割安と判断する場合に機動的に行う自己株式の取得と合わせて、総還元性向 40%を目指しております。

(キャピタルアロケーションポリシー)

長期での企業価値の最大化を実現するため、次の 5 つを基本ポリシーとし、規律ある成長投資と株主還元を実現することを目指します。

- ① ROE 向上、株主資本コストの適正水準維持により、企業価値及びエクイティスプレッドの最大化を目指す
- ② 自己資本比率を注視しつつ、低コストでの借入を図る
- ③ 新たな価値を創造するために、成長投資を優先させる
- ④ 成長投資後の余剰資金については、安定配当・増配を継続する
- ⑤ PBR 1 倍未満の場合、機動的に自己株式の取得を行い、総還元性向 40% / EPS 成長 14%を目指す

前記「1. 業績予想の修正」に記載のとおり、好調な業績や財務状態を踏まえ、キャピタルアロケーションポリシーに基づき、2025 年 11 月期の期末配当予想を、1 株当たり 15 円 00 銭から 3 円増額し、18 円 00 銭に修正することといたしました。

これにより、年間配当予想は 1 株当たり 33 円 00 銭となり、前期比での DPS (1 株当たり配当金) の引き上げ額は 10 円と過去最大となる見込みです。

3. 中期経営計画の見直し検討について

今回の通期連結業績予想の修正により、2025 年 11 月期は、売上高 67,895 百万円、営業利益 7,232 百万円、当期純利益 4,159 百万円となる見通しであり、中期経営計画の最終年度である 2026 年 11 月期の計数目標として設定した「売上高 700 億円、営業利益 70 億円、当期純利益 38 億円」のうち、「営業利益 70 億円、当期純利益 38 億円」を 1 年前倒しで達成する見込みであります。

現在当社では、この結果を踏まえて、中期経営計画の定量目標の一部の見直しについて検討をしております。中期経営計画を見直す場合には、2026 年 1 月 13 日に予定しております 2025 年 11 月期通期決算発表時に併せてお知らせいたします。

以 上